



平成 27 年 10 月 9 日

各 位

上場会社名 株式会社 一六堂
代表者名 代表取締役社長 柚原 洋一
(コード：3366 東証 第一部)
問合せ先責任者 取締役管理本部長兼財務経理部長
大木 貞宏
電 話 (0 3 - 3 5 1 0 - 6 1 1 6)

特別損失の計上及び平成 28 年 2 月期第 2 四半期 (累計)

業績予想の修正に関するお知らせ

1. 特別損失の計上について

当社の運営する「八吉 名古屋名駅店」が所在する名古屋名駅地区において、リニア新駅設置に伴う再開発の実施を見据え、9 月末日の定期建物賃貸契約終了後の再契約を拒絶されたため、当該店舗の固定資産について 13,896 千円、その他、収益性の低下した 1 店舗の固定資産について 10,445 千円の合計 24,342 千円の減損損失を計上いたします。

2. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

平成 28 年 2 月期第 2 四半期連結業績予想値の修正 (平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,743	132	193	106	11.13
今回実績値 (B)	4,735	100	160	65	6.90
増減額 (B-A)	△8	△32	△32	△40	
増減率 (%)	△0.2	△24.4	△16.8	△38.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 2 月期第 2 四半期)	4,553	158	254	136	14.25

(2) 修正の理由

当社は、8 月末時点で 80 店舗中 75 店舗を首都圏のビジネス街を中心とする好立地物件に、全て直営にて店舗を運営しております。既存店全体としては昨年を上回り概ね堅調に推移いたしました。店舗別に見ますとオープンより 10 年近く経過する店舗や、M&A により取得し、年数の経過した既存の内装を改装した店舗において、他の既存店に比べ業績が低迷しておりました。そのため、好立地にて運営するそれら既存店の底上げを図ることが今期以降を含めた当社の業績向上に重要と考え、予算外にて該当店舗 3 店舗の大規模改装と 2 店舗の業態変更を実施いたしました。その結果、売上高におきましては、大規模修繕等の実施による休店 (各店とも約 1 ヶ月)

があり微減、利益面においては、販売管理費の一時的な増加や、上記の減損損失に加え改装等による固定資産除却損 20,435 千円の計上等により当初予想を下回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、改装等を実施した店舗は改装等の前より、売上を順調に伸ばしており下期以降に業績に寄与すると思われることから、当初予想を据え置きます。

以 上